

PRS-007 ひよこ



- 作品名 「ひよこ」
- デザイン はっとりみどり
- 用意するもの
  - アクリルファイバー・アクレーナ 15gパック
    - 黄色 (H440-001-105) .....1袋
    - オレンジ (H440-001-116) .....1袋
    - ★ピンク (H440-001-124) .....1袋
  - ソリッドアイ (5mm) (H221-305-1) .....2コ
  - ★フェルトシート (茶) .....1枚
  - フェルティング用ニードル極細 [1本タイプ] ×2本入り (H441-023) ※
    - ※フェルティング用・ニードルホルダー (H441-032) があれば、作業が早く進みます。
  - フェルティング用マット (H441-015) ※
  - ※またはアクレーナスターセット (H441-047)
  - はさみ □ボンド □目打ち □★刺しゅう糸 (黒) □★縫い針

※★マークの材料・用具はお好みでご用意ください。

フェルティング用ニードルやマットに記載されている注意をよく読み、安全に作業を行ってください。

すべての作業は、手で持ち上げないで必ずフェルティング用マットに置いて行ってください。

でき上がりサイズ ひよこ…高さ約4.3cm

基本の手順

下準備

STEP 1

ベースを作る

STEP 2

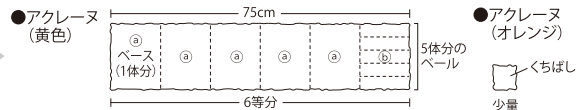
顔を作り細部を仕上げます

作り方

イメージ写真・実物大型紙で形や大きさを確認しながら作業を進めましょう。

下準備

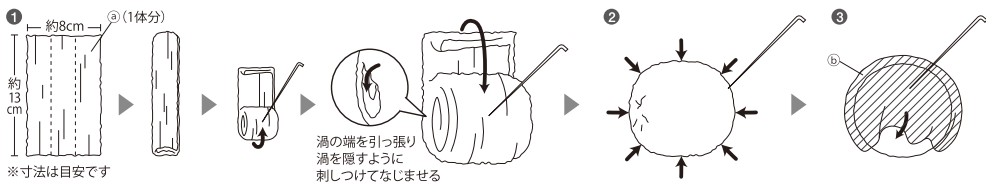
使用するアクレーナを袋から取り出し、軽くほぐして膨らみを戻します。右図のようにカットして使用する分量に材料を取り分けます。



「マスコットをきれいに作るコツ／アクレーナの刺し加減の目安」をよく読んで作業をはじめてください。

1 ベースを作ります。

実物大型紙と下図を参考に、ベース用の③ (1体分) でベースを作ります。 ※下部「アクレーナの刺し加減の目安」参照



① ③ (1体分) を三つ折りにし、端からふんわり巻きながら巻き終わりを数カ所優しく刺しとめる

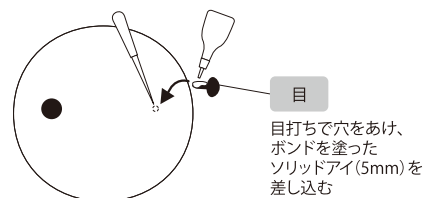
② 実物大型紙「ベース」に合わせて全体を刺し、形を整える

③ ⑥から1/6程度とり分け薄くベール状に広げかぶせ、全体をやさしく刺しつけて表面を整える

2 顔を作り細部を仕上げます。

顔は表情を決める部分です。カラー写真をよくみてバランスに注意しましょう。

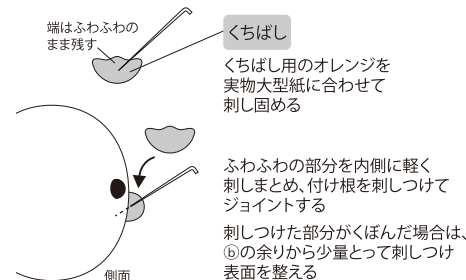
① 実物大型紙と下図を参考に、目をつけます。



目

目打ちで穴をあけ、ボンドを塗ったソリッドアイ (5mm) を差し込む

② 実物大型紙と下図を参考に、くちばしを作りベースにジョイントします。



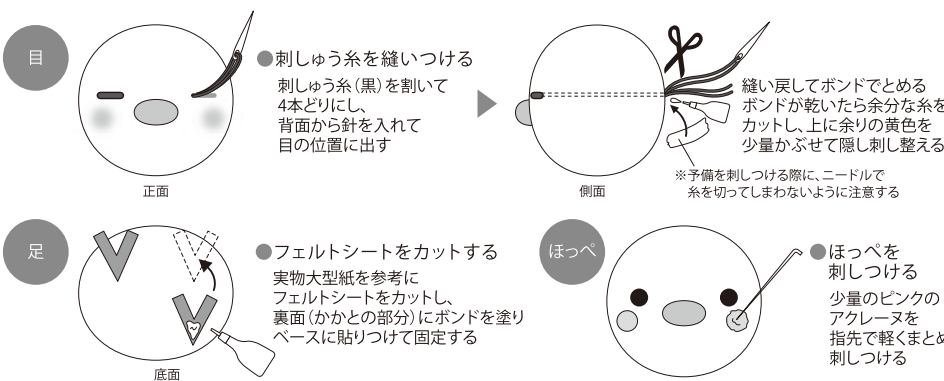
くちばし

くちばし用のオレンジを実物大型紙に合わせて刺し固める

ふわふわの部分を内側に軽く刺しまとめ、付け根を刺しつけてジョイントする

刺しつけた部分がくぼんだ場合は、⑥の余りから少量とって刺しつけ表面を整える

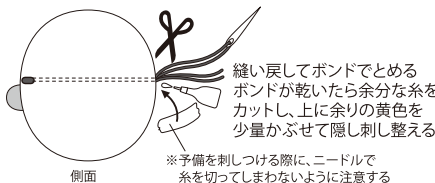
好みでアレンジ



目

●刺しゅう糸を縫いつける  
刺しゅう糸 (黒) を割いて4本どりにし、背面から針を入れて目の位置に出す

正面



側面

縫い戻してボンドでとめるボンドが乾いたら余分な糸をカットし、上に余りの黄色を少量かぶせて隠し刺し整える

※予備を刺しつける際に、ニードルで糸を切ってしまうように注意する

足

●フェルトシートをカットする  
実物大型紙を参考にフェルトシートをカットし、裏面 (かかとの部分) にボンドを塗りベースに貼りつけて固定する

底面

ほっぺ

●ほっぺを刺しつける  
少量のピンクのアクレーナを指先で軽くまとめ刺しつける

実物大型紙

仕上がり図

ソリッドアイ (5mm)

ベース

黄色

正面

側面

パーツ図

くちばし

オレンジ

厚み/7mm程度



アレンジ (好みで)

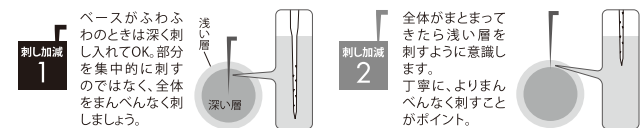
足 (2つ)

フェルトシート



アクレーナの刺し加減の目安

アクレーナの繊維は膨らみ感が強く、絡まりやすいのが特徴。ただし、強い力で集中的に刺すと、その箇所の繊維が部分的に強く絡まり、跡が残る原因になることも。下記の刺し加減を目安に、優しく刺して仕上げましょう。



刺し加減 1

ベースがふわふわのときは深く刺し入れてOK。部分を集中的に刺すのではなく、全体をまんべんなく刺しましょう。

浅い層

深い層

刺し加減 2

全体がまとまってきたら浅い層を刺すように意識します。丁寧に、よりまんべんなく刺すことがポイント。

マスコットをきれいに作るコツ

●刺しすぎに注意しましょう  
刺しすぎると、アクレーナが固く小さくなってしまいますので気をつけましょう。ニードルを刺し入れるときは、深い場合・浅い場合も、あまり力を入れずに刺すのがコツです。

●シワや刺しあとは  
アクレーナは膨らみ感が強いので、小さなシワや刺しあとは、時間がたてば目立たなくなります。どうしても気になる大きなシワができた場合は、その部分の繊維をピンセットなどでそっと引き出し、優しく刺し直すと目立たなくなります。

